

「脳神経回路の形成・動作原理の解明と制御技術の創出」 研究領域 最終公開シンポジウム 脳神経回路研究の最前線2017

主なプログラム内容

- 第一部 ▶ 神経回路形成の分子機構
- 第二部 ▶ 随意運動の発動と制御の神経回路メカニズム
- 第三部 ▶ シナプス可塑性制御と記憶の神経回路メカニズム
- 第四部 ▶ 神経障害にともなう神経回路再編と機能修復

参加費
無料

開催概要

- 会場 ▶ コンファレンススクエア M+ 会議室「グランド」
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル 10F
- アクセス ▶ JR「東京駅」丸の内南口 徒歩約2分（京葉線「東京駅」10番出口より直結）
地下鉄 丸の内線「東京駅」地下道経由 徒歩約3分
千代田線「二重橋前駅」4番出口 徒歩約2分
都営三田線「大手町駅」D1出口 徒歩約4分
東西線「大手町駅」B1出口 徒歩約6分



お申込 ▶ 参加のお申し込みは下記URLを入力、またはQRコードを読み込んで表示されるページよりお申し込みください。
※申し込みは外部サービスを利用しております。
<https://krs.bz/amed/m?f=199>



締切 ▶ 2017年1月13日（金）12時00分

お問い合わせ先
国立研究開発法人日本医療研究開発機構 戦略推進部 研究企画課
TEL: 03-6870-2224
E-mail: kenkyuk-ask@amed.go.jp

2017年1月20日（金）
10:30 ~ 17:30

脳神経回路研究の最前線2017



AMED-CREST「脳神経回路の形成・動作原理の解明と制御技術の創出」 研究領域 最終公開シンポジウム

研究総括挨拶



プログラムスーパーバイザー

小澤 静司

(高崎健康福祉大学 健康福祉学部 教授)

本シンポジウムは、AMED-CREST「脳神経回路の形成・動作原理の解明と制御技術の創出」研究領域の取り組みを広く領域外の皆様にご覧いただくことを目的に行うものです。この研究プロジェクトは平成21年度に発足し、本年度をもって終了いたしますが、この間公募により採択された19のチームが、脳を構成する神経回路がどのように作られ、どのように動作することにより脳という極めて全体性の高い情報処理システムを作り上げているのかを解明し、さらに脳神経回路の形成と動作を制御する革新的な技術を開発することにより、精神・神経疾患の診断・治療法の創出に貢献することを目指して、研究を進めてきました。

これまでに3回の公開シンポジウムを開催し、本研究領域の趣旨をご理解いただくとともに、その時点までの研究成果を報告してまいりました。今回は

最後の公開シンポジウムとなるので、本研究領域を代表する画期的な研究成果を4つのテーマに分けて披露させていただくことを計画いたしました。第一部では、シナプスの形成に関わる新規の機能分子群の発見とそれらの役割について、第二部では、運動指令を作り出す神経回路メカニズムについて、第三部では、長期記憶形成にともなう可塑的神経回路の分子基盤の解明、および霊長類の認知記憶の形成と想起の神経回路メカニズムについて、また第四部では、脳損傷後の機能修復メカニズムの解明と治療法の開発、およびグリア-ニューロン機能連関による回路再編機構の研究に基づく神経障害性疼痛の成因の解明と治療法の開発について、それぞれの研究成果を発表いたします。

脳の機能メカニズムとその不調による精神・神経疾患の発症機序を明らかにし、それらの知見に基づく治療法を開発するためには、脳神経回路の形成と動作原理を明らかにすることが必須であるという認識のもとに、世界各国が競って脳神経回路研究のビッグプロジェクトを立ち上げつつある中で、本シンポジウムは、この分野における我が国の取り組みの最先端を知るための格好の機会になると思います。多数の皆様のご参加により、活発な議論が繰り広げられることを期待いたします。

プログラム

10:30~10:40 開会あいさつ 小澤静司 (AMED-CREST「脳神経回路の形成・動作原理の解明と制御技術の創出」研究開発領域 研究総括)

第一部 神経回路形成の分子機構

10:40~11:20



「成熟脳におけるシナプス形成機構の解明と制御」

柚崎 通介 (慶應義塾大学医学部 教授)

11:20~12:00



「神経細胞の個性がつくる神経回路とセルアセンブリ」

八木 健 (大阪大学大学院生命機能研究科 教授)

12:00~13:00 昼食休憩

第二部 随意運動の発動と制御の神経回路メカニズム

13:00~13:40



「最先鋭技術で探る運動皮質回路の時空間表現と光制御」

松崎 正紀 (東京大学大学院医学系研究科 教授)

13:40~14:20



「霊長類の大脳-小脳-基底核ネットワークにおける運動情報処理の分散と統合」

星 英司 (東京都医学総合研究所 プロジェクトリーダー)

第三部 シナプス可塑性制御と記憶の神経回路メカニズム

14:20~15:00



「可塑的神経回路を支えるシグナル伝達の分子基盤解明と制御」

尾藤 晴彦 (東京大学大学院医学系研究科 教授)

15:00~15:40



「サル大脳認知記憶神経回路の電気生理学的研究」

宮下 保司 (順天堂大学大学院医学研究科 特任教授)

15:40~16:00 コーヒーブレイク

第四部 神経障害にともなう神経回路再編と機能修復

16:00~16:40



「中枢神経障害後の神経回路再編成と機能回復のメカニズムの解明」

山下 俊英 (大阪大学大学院医学系研究科 教授)

16:40~17:20



「生体内シナプス長期再編におけるグリア-シナプス機能連関」

鍋倉 淳一 (自然科学研究機構生理学研究所 教授)

17:20~17:30 閉会あいさつ 日本医療研究開発機構 戦略推進部